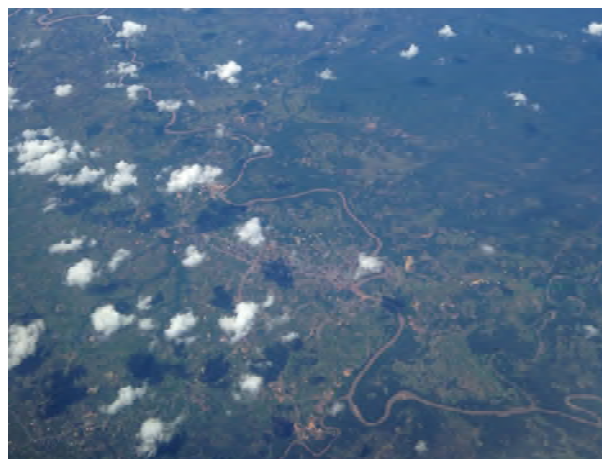




愛知県議会タイ王国訪問団(団長:岩村議員、鈴木他全7名)は、愛知県とタイ工業省との経済連携に関する覚書を結ぶために知事、議長と共に調印式への出席をはじめ、開催している愛知県の農林水産物・加工食品の販売促進「愛知フェア in タイ・バンコク」の視察等のために、平成 26 年 9 月 8 日から 11 日(早朝帰国)タイ・バンコク都を訪問しました。知事部局からは地域振興部、産業労働部、農林水産部がバンコク入りしたほか、名古屋商工会議所岡谷会頭、中部経済連合会三田会長、中部国際空港川上社長など経済界や関係機関の方々とともに友好を深めました。

## タイ進出企業との意見交換会

平成 26 年 9 月 8 日 セントレアからタイ国際航空 TG645 便で空路約 6 時間(時差-2時間)でバンコク入り、早速空港からの交通渋滞、ホテルについてのスコールで歓迎を受けた後、現地で活躍されている皆さんとの意見交換会に出席。稲沢の飯田産業現地法人 LOC 社長吉村さん他の方から電力事情や2011年の大洪水時の対応、日本語学校、暮らしぶりなど伺う。タイは人口 6,550 万人、面積は日本の 1.4 倍。バンコクは人口 1,200 万人、面積は本県の 3 割、通貨はバーツで 1 バーツ 3.6 円程度。



機内から見たバンコクへ行く途中の状況、どの河川も蛇行している。



## チュラロンコン大学・在タイ日本国大使館訪問

平成 26 年 9 月 9 日 タイ訪問 2 日目はタイの大学、チュラロンコン大学で、午前中は文学部の日本語講座専攻の学生の取組などについて意見交換。チュラロンコン大学はタイにおいて最も古い歴史を持つ名門大学で、ラーマ6世により設立され、父上(ラーマ5世大王)の名前が冠されている(この大王により贈られた仏舎利を納骨するために1904年に覚王山日泰(タイ)寺が建立された)。キャンパスは約102万㎡、4万人以上の学生が在席している総合大学。シンボルカラーはピンク。



文学部は1200人ほどでその内、日本語専攻には130人ほどの学生が在学、修士は少ないとのこと。留学経験は6割の学生があり、就職は8割が日系企業。男女間格差について質問したところアサダーユット・チューシー日本語講座長の説明では男女の区別なく進学、食事の片づけなど自分のことは自分ですというお国柄ら、食事は安価なこともあり外食が多く、両親と暮らしている世帯も多いが家政婦やベビーシッターも普通に利用されているとのこと。



午後は同大学の石油・石油科学研究科(大学院、PPC)にて名古屋大学が校内に開設した名古屋大学タイ事務所の取組、大学間、企業間のグローバルな連携について意見交換。同研究科は1980年代のタイ湾西部における天然ガスの発見を契機に1988年に設立。創成期よりアメリカの3大学とパートナー協定を締結し、学位証明書にも3大学の部門長による副署がされている。カリキュラムも教授陣の受け入りを考慮し短期集中型をとるなどパートナー協定が活かされるよう工夫されている。また、アジアの拠点となるよう他大学との連携強化を進めており、JSPS では名古屋大学とのセミナーの開催や、MOU ではハノイ大学、名古屋大学と共同してバイオマス(グリーンモビリティなどバイオエネルギー研究)の研究に3年計画で取組んでいる。名古屋大学では、4番目の海外事務所として4月に同科のリサーチサービスセンター内に名古屋大学バンコク事務所を開設し、様々なプログラムに対して学術交流、留学生獲得に向けた活動、情報発信のアジア諸国における拠点として取組みを始めている。国を跨いでの取組で障壁となるものについて質問したところ、特に感じるものはなく仮にあったとしても解決して進めていくと力強い回答を頂く。ただ、国立、私立での手続きの違い(国の場合は煩雑)については指摘があった。



バンコク事務所の特任助教授ウィラヤーさん(中央)とスタッフの方と。

夜は在タイ日本国大使を表敬訪問して、特命全権大使の佐藤様から反政府デモの拡大とクーデターの発生など内政や社会状況、日本の進出企業などの経済・産業面からサッカー等々幅広くタイの歴史・現状についてお話を伺う。タイではサッカーが大変人気で、名古屋グランパスも交流があるとのこと。議会側は三浦議長に加え岩村団長以下議会訪問団、県側は大村知事、植田地域振興部長、小山産業労働部長等、名商からは岡谷会頭、細谷専務理事等が大使からお招きを頂き出席。



## 経済連携に関する覚書・愛知フェア・経済交流会

平成 26 年 9 月 10 日 タイ訪問 3 日目は、愛知県とタイ工業省との経済連携に関する覚書調印式に出席。タイへはモノづくり愛知から既に 284 の企業が 416 の拠点を活動しており、発展著しい東南アジアの拠点であるタイと本県がウィン・ウインの関係を伸展させて行くための重要な覚書の調印。最初に立会人を務めるタイ工業省、ヴィトウン・シマチョークディー事務次官から歓迎の挨拶を頂き、愛知県側からは知事が出席者の紹介(鈴木もサワディーカップ(こんには))ののち挨拶。続いて経緯概要説明の後、大村知事とアッチャカー・シーブンルアーン産業振興局長が署名をされ覚書が成立した。この経済連携に関する覚書には、新しい国際ビジネスを広げるため愛知県とタイの中小企業を共同でサポートすることや情報交換・意見交換・セミナー・展示会の開催などが謳われ、両社は互いの利益のために、より緊密に連絡していくことを強く望むとともに、タイと愛知県の中小企業間の連携促進においてお互いに協力していくこととすると記されている。愛知県はこの4月に10年ぶりにバンコク産業情報センターを開設(ジェットロ事務所内)し取組を強化しているが、タイにとって愛知は調印6番目の県。



午後は、愛知県の農林水産物・加工食品をPRする愛知フェア in タイ・バンコクを視察。タイでは桃は硬い方が好きな人が多いとか、味噌は中国では薄めでなければダメだがタイは日本と同じような濃さが好まれるなど販売促進にご苦労されていた。また、いいとも愛知の黄色い法被が良く目立っていたが、そののぼりを設置することが認められなかったとのことで残念。スーパーの食品には、from JAPAN や from USA の表示があり関係者に聞くと、やはり AICHI は弱く、まだ NAGOYA の方が強く、TOYOTA が一番の認知度とのこと。フェアには12の出展社の方が51品目の品揃えで臨まれている。販売促進会は9月5日(金)~14日(日)まで。

会場のサイアム・パラゴンへは、車ではどこへ行くにも大渋滞で大変時間が掛かることもあり、BTS(スカイトレイン)に乗り(22パーツ)して到着。



訪問団最後の日程となる、愛知県とタイ王国との経済交流会ではタイ政府・経済界、現地日本政府・関係機関、愛知県からの進出企業の皆さんなど私達訪問団を含め総勢 180 名程度の参加を頂き会場は大盛況。大村知事の主催者の挨拶に続き、昨日訪問した佐藤在タイ日本国大使、三浦県議会議長の来賓挨拶、遅れてこられたアッチャカー・シーブンルアーン産業振興局長の祝辞と続く。局長のタイと日本との関係の話では、福岡、新潟、鳥取などの紹介があったが、岡谷会頭が愛知を宜しくと柔らかく切り返し、乾杯(チャイ・ヨー)の発声で開宴。コスプレパフォーマンスなどの後、三田会長の中締めで議長並びに県議会訪問団は退席。満杯の会場で金融機関の現地事務所の皆さんはじめ色々な方にご挨拶するも地元稲沢のユーニーの方にお会いできず残念。深夜 0 時発(実際は空調不良のため機中で1時間程度の待機)のタイ国際航空 TG644 便で中部国際空港セントレアへ。



日本酒の試飲には祖父江の内藤酒造さんも出展

最後に、岩村団長、鬼頭副団長はじめ訪問団員の皆様、池田事務局員・JTB の方には色々お世話になりました。特に団長には、日程がタイトな中でしたが、御息子が立ち上げたソフトウェア会社 Q-STUDIOS に訪問し日本の青年起業家の生の声を伺い有意義な時間を過ごすことができ感謝申し上げます。

愛知県議会タイ王国訪問団名簿

- |     |             |         |
|-----|-------------|---------|
| 団 長 | 岩 村 進 次     | 自 民 党   |
| 副団長 | 鬼 頭 英 一     | 公 明 党   |
| 団 員 | 神 野 博 史     | 自 民 党   |
| 団 員 | 飛 田 常 年     | 自 民 党   |
| 団 員 | 鈴 木 純       | 民 主 党   |
| 団 員 | 浅 井 よ し た か | 民 主 党   |
| 団 員 | 浅 井 喜 代 治   | 減税日本一愛知 |



愛知県議会タイ王国訪問団 団員 鈴木 純